

<p style="text-align: center;"><b>投 信 概 況</b></p> <p style="text-align: center;"><b>(2026 年 1 月)</b></p>	<p><b>2026 年 2 月</b></p>
	<p><b>モニタリング&amp;エバリュエーションチーム</b></p> <p style="text-align: right;"><b>藤原 崇幸</b></p>

本稿では、ETF を除く国内籍公募追加型株式投資信託について資金動向をまとめた。図表 1 に純資産総額と純流  
 出入額の直近 1 年間の推移、図表 2 に当月（2026 年 1 月）の GW 分類の大分類別資金動向、図表 3 a に GW  
 分類の大分類別の純資産総額シェア、図表 3 b に当月の GW 分類の大分類別純流出入額を示す。

なお、本稿で示す純流出入額のうち、当月分は当社推計値、その他の月は資産運用業協会の公表値を使用した。

**～当月は約 2.8 兆円と過去 20 年で最大の純流入、純資産総額も 178 兆円台と過去最高を更新～**

当月を振り返ると、1 月 23 日開催の通常国会冒頭で解散可能性が報じられると、昨年末の終値が 5 万 339 円  
 であった日経平均株価は、一時、終値ベースで 5 万 4,000 円台となるなど、大きく上昇した。一方、当月末の日本の  
 10 年物国債利回りは 2.2%に達するなど、上昇傾向が続いている。このような市場環境の中、当月末のファンド全体  
 の純資産総額は、前月末から 4 兆 4,254 億円増の 178 兆 5,177 億円となり、過去最高を更新した。また、当月  
 の資金フローは 2 年 8 ヶ月連続の純流入となり、純流入額は 2 兆 7,701 億円と過去 20 年で最大であった。

資金動向を GW 分類<sup>1</sup>の大分類別に純資産総額の推移でみると、当月も「グローバル株式（ヘッジなし）」や「国  
 内株式」を中心に純資産総額は前月から大きく増加した。増加額が最も大きかったのは「グローバル株式（ヘッジな  
 し）」で、前月末から 1 兆 7,946 億円増の 101 兆 561 億円であった。また、当月も純資産総額の増加率が最も  
 高かった「コモディティ」は 9,385 億円増の 3 兆 9,539 億円となり、純資産総額は 4 兆円が目前となった。

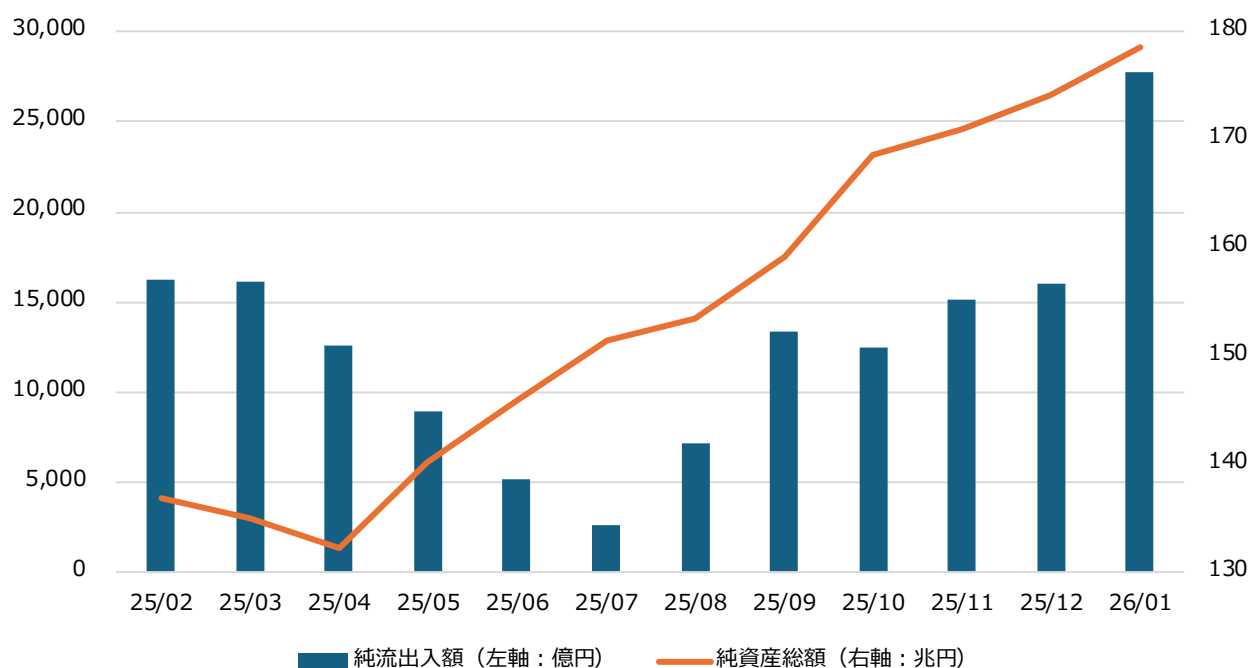
純流出入額でも「グローバル株式（ヘッジなし）」が 5 年 7 ヶ月連続の純流入と好調を維持しており、当月の純流  
 入額は 1 兆 8,293 億円と前月の純流入額を大きく上回った。「グローバル株式（ヘッジなし）」をさらに細分化した集  
 計では、インデックスファンドへ 1 兆 4,557 億円の純流入と分類内で相対的に高水準の流入を継続している。一方、  
 インド株式に投資するアクティブファンドは、昨年 7 月から純流出が続き、当月も 536 億円の純流出、純資産総額は  
 3 兆円を割り込んだ。

当月の個別ファンドの資金流入ランキングをみると、「eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カント  
 リー）」は 5,873 億円の純流入があり、「eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）」は純資産総額  
 が 10 兆円に達した。

<sup>1</sup> SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティングが独自に定めたファンド分類のこと。すべての国内籍追加型株式投  
 資信託を対象とし、目論見書の記載事項をベースに、投資対象、投資地域、運用方針、投資手法に着目して分類を行っている。

# 【SGIC リサーチレビュー】

図表 1 純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準）



(出所) 資産運用業協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

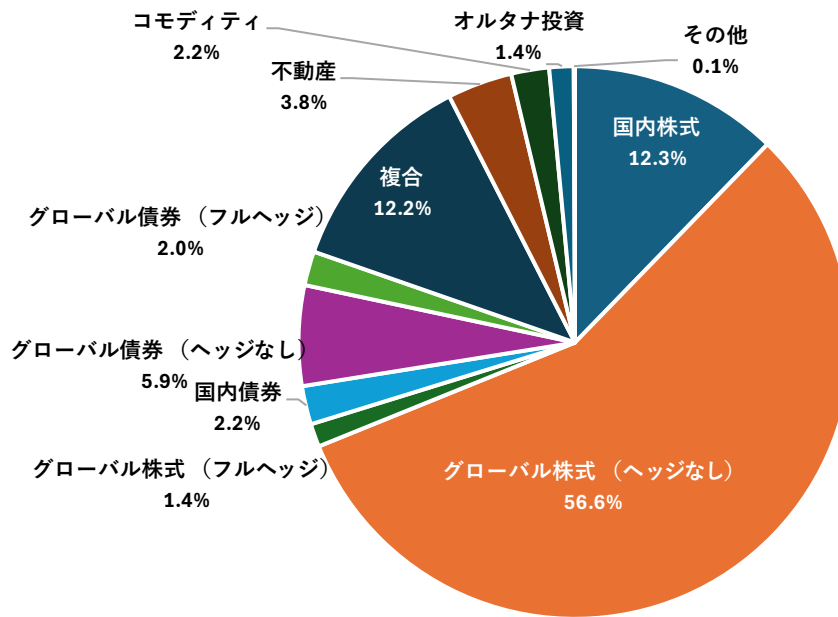
図表 2 2026 年 1 月の GW 分類 大分類別資金動向 (億円)

GW分類 大分類	純資産総額				純流出入額 26/01
	25/12末	26/01末	増減額	増減率	
国内株式	206,190	218,850	12,660	6.14%	3,624
グローバル株式 (ヘッジなし)	992,615	1,010,561	17,946	1.81%	18,293
グローバル株式 (フルヘッジ)	24,163	24,175	12	0.05%	-312
国内債券	40,363	40,152	-210	-0.52%	230
グローバル債券 (ヘッジなし)	105,173	104,807	-366	-0.35%	358
グローバル債券 (フルヘッジ)	35,266	35,606	340	0.96%	422
複合	212,173	216,995	4,822	2.27%	2,359
不動産	68,614	67,792	-822	-1.20%	-158
コモディティ	30,155	39,539	9,385	31.12%	3,127
オルタナ投資	24,928	25,421	494	1.98%	-195
その他	1,284	1,279	-5	-0.41%	-47
<b>合計</b>	<b>1,740,923</b>	<b>1,785,177</b>	<b>44,254</b>	<b>2.54%</b>	<b>27,701</b>

(出所) 資産運用業協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

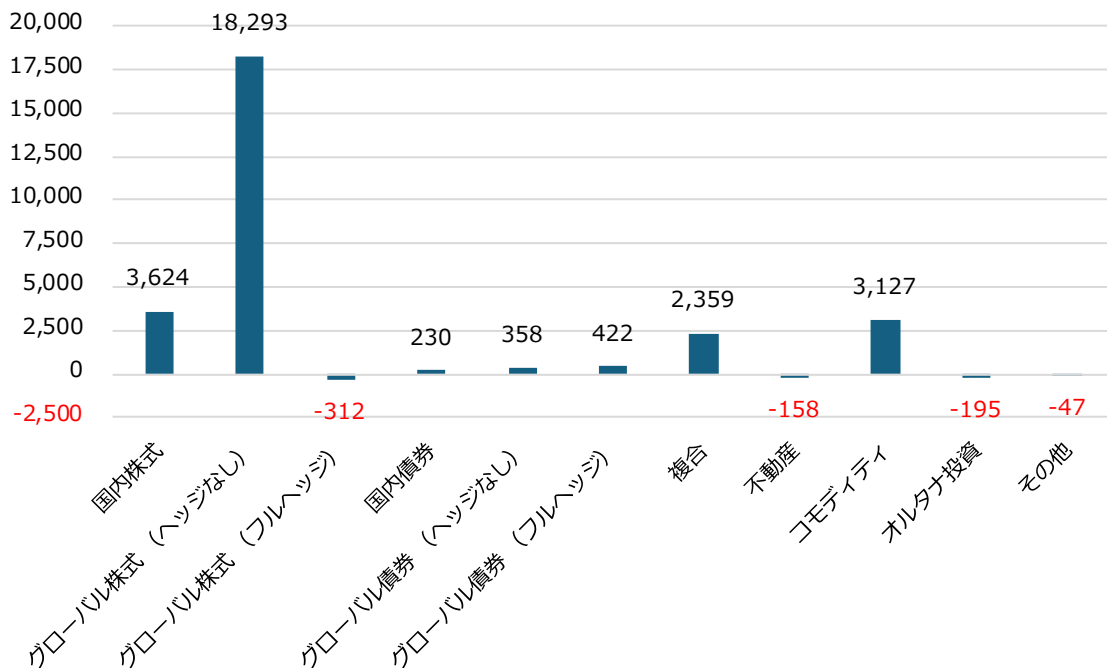
# 【SGIC リサーチレビュー】

図表 3 a GW 分類 大分類別の純資産総額シェア (2026 年 1 月末基準)



(出所) 資産運用業協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

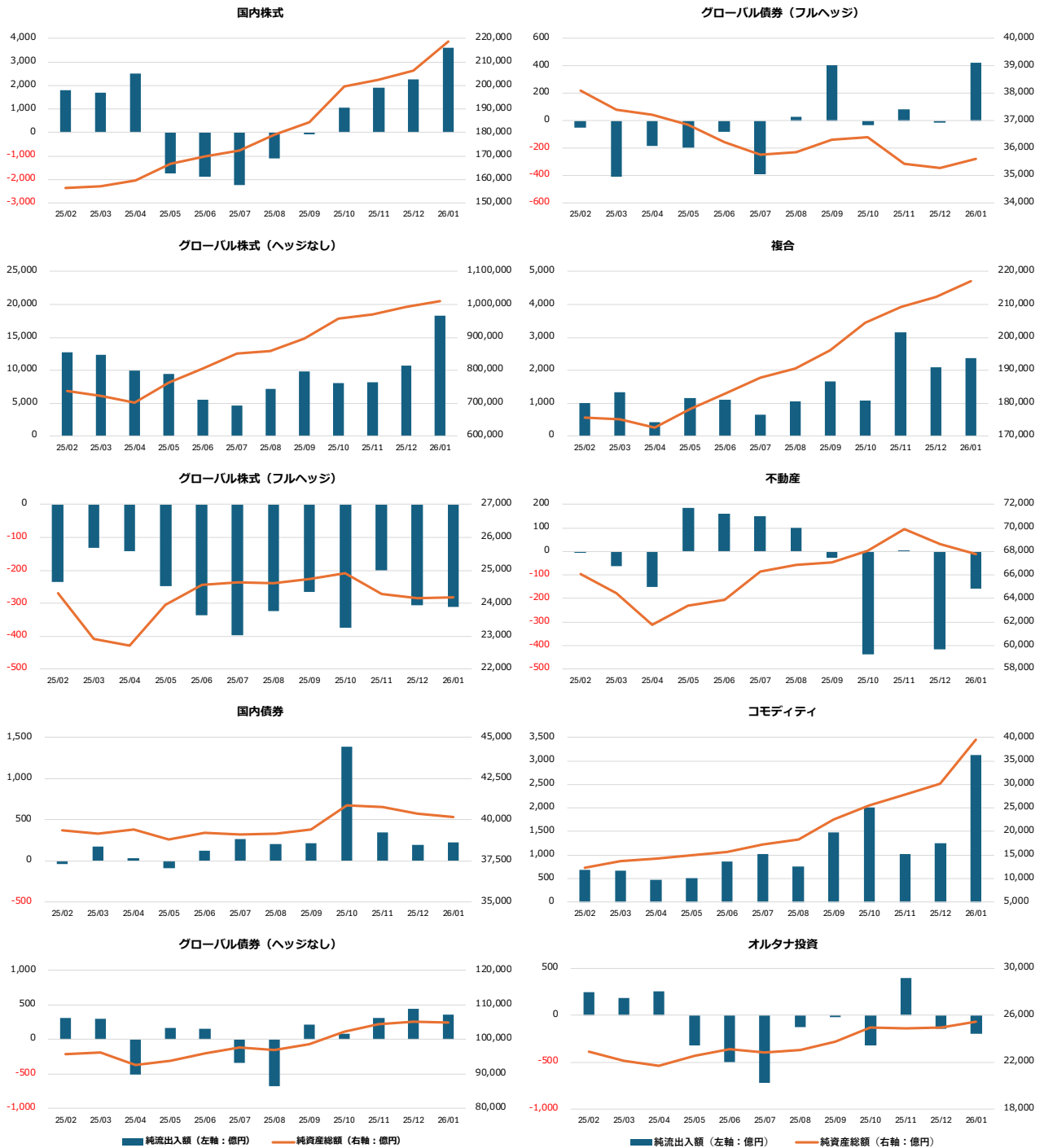
図表 3 b 2026 年 1 月の GW 分類 大分類別純流出入額 (億円)



(出所) 資産運用業協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

## Appendix

図表 I GW 分類 大分類別の純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移 (月末基準、億円)



(出所) 資産運用業協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

# 【SGIC リサーチレビュー】

図表Ⅱ 2026年1月の純流入ランキング10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA	
					つみたて	成長
1	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJアセット	97,267	5,873	○	○
2	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJアセット	100,388	2,938	○	○
3	ピクテ・ゴールド(為替ヘッジなし)	ピクテ	11,495	1,182		○
4	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	インベスコ	31,928	1,083		
5	フィデリティ・グロス・オポチュニティ・ファンド Dコース(毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし)	フィデリティ	8,270	992		
6	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジなし)	SBI	3,391	671		○
7	ROBOPROファンド	SBI岡三	2,784	475		○
8	三菱UFJ 純金ファンド	三菱UFJアセット	9,989	471		○
9	eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	三菱UFJアセット	5,192	456	○	○
10	iFreeNext FANG+インデックス	大和アセット	9,984	449	○	○

(出所) 資産運用業協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表Ⅲ 2026年1月の純流出ランキング10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA	
					つみたて	成長
1	あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2024-04	あおぞら	337	-416		
2	あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2024-07	あおぞら	211	-267		
3	あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2024-01	あおぞら	105	-241		
4	グローバル・エクスポネンシャル・イノベーション・ファンド	アモーヴァ	2,619	-182		○
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	アライアンス	18,064	-177		○
6	外国株式SMTBセレクション(SMA専用)	三井住友トラスト	4,422	-166		○
7	国内株式SMTBセレクション(SMA専用)	三井住友トラスト	3,662	-140		○
8	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	アセットOne	10,135	-121		○
9	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス	32,868	-120		
10	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	アモーヴァ	3,417	-109		○

(出所) 資産運用業協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

(END)

## 本資料について

【免責事項】本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社(以下「SGIC」といいます)が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料は SGIC の著作物です。ただし、本資料で使用している指数等にかかる著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属し、SGIC による当該指数等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細は <https://www.smbc-gic.co.jp> でご参照いただけます。投資に関する最終的なご判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

【SGIC が行う金融商品取引業にかかる留意事項】 SGIC は投資一任業務および投資助言業務を営んでいます。SGIC が、投資一任契約に基づき投資するおよび投資顧問契約に基づき助言を行う金融商品または金融派生商品は、金利・通貨の価格・金融商品市場における相場その他の指標の変動により損失が生ずるおそれがあります。

変動要因としては、有価証券等の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券等の発行体の信用リスク等、および外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがってお客さまの投資元本は保証されているものではなく、金融商品等の価値の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

投資顧問契約および投資一任契約に対する報酬(投資顧問報酬)は総契約資産額等に対して最大年率 0.880%(税込)の基本報酬に加え、契約に基づき成功報酬が発生する場合があります。また、お客さまがご購入いただく金融商品において手数料や間接的に負担する費用等が発生する場合がありますが、これらについては、お客さまとの契約内容によって異なりますので、事前に表示することができません。

投資顧問契約等を締結される際には、事前に契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

商号等 SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 449 号  
加入協会 一般社団法人 資産運用業協会